



平成 28 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 助野 健児
 (コード番号 : 4 9 0 1 東証第一部)
 問 合 せ 先 経営企画部
 コーポレートコミュニケーション室長
 吉澤 ちさと
 (TEL : 03-6271-1111)

平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 4 月 27 日に公表した平成 29 年 3 月期 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日) の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

〈米国基準〉

	売上高	営業利益	税金等調整前 当期純利益	当社株主帰属 当期純利益	1 株当たり 当社株主帰属 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 4 月 27 日発表)	百万円 2,550,000	百万円 220,000	百万円 220,000	百万円 125,000	円 銭 277 47
今回修正予想 (B)	2,400,000	192,000	192,000	112,000	252 51
増減額 (B-A)	△150,000	△28,000	△28,000	△13,000	△24 96
増減率 (%)	△5.9	△12.7	△12.7	△10.4	△9.0
(参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	2,491,624	191,179	194,529	123,313	264 87

2. 修正の理由

当社を取り巻く事業環境は、中国をはじめとするアジア新興国などの景気が下振れする懸念に加え、英国の EU 離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりへの懸念から為替相場では円高傾向が続くと想定されます。日本においても、海外経済の減速を受けて停滞感が強まっています。当社においては、為替の円高影響を受け、売上高が計画を下回って推移しております。また、これにより営業利益も計画を下回っております。

これらの状況を踏まえ、平成 29 年 3 月期の通期連結業績予想については、売上高、営業利益、税金等調整前当期純利益、当社株主帰属当期純利益、1 株当たり当社株主帰属当期純利益を下方修正いたします。なお、今回の業績予想の前提となる円為替レートは、第 3 四半期連結会計期間以降、対米ドルで 105 円、対ユーロで 115 円と想定しております。

注) 本資料に記載されている予想値は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の実績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

注) 「1 株当たり当社株主帰属当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、前回発表予想では平成 28 年 3 月 31 日現在の発行済株式数 (自己株式数を除く) を、今回修正予想では平成 28 年 9 月 30 日現在の発行済株式数 (自己株式数を除く) をそれぞれ使用しております。

以 上